

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東三河看護専門学校
設置者名	社会医療法人明陽会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護科	夜・通信	9単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスに一覧表のページを入れている。訪問によりシラバス閲覧可能(冊子)。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	東三河看護専門学校
設置者名	社会医療法人明陽会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価
役割	教育理念、教育課程経営等、自己点検・自己評価の結果に対し、学校運営・教育活動の意見を求め、運営委員会にて意見をもとに改善策を検討する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
元大学院教授	2022. 4. 1 ～2024. 3. 31	平成3年より非常勤講師として勤務している。令和2年より学校関係者評価委員。
社会医療法人明陽会 成田記念病院 看護部長	2022. 4. 1 ～2024. 3. 31	卒業生の就職先代表として令和2年より学校関係者評価委員。
社会医療法人明陽会 第二成田記念病院 看護部長	2022. 4. 1 ～2024. 3. 31	実習先代表として令和2年より学校関係者評価委員。
社会医療法人明陽会 成田記念病院 看護部	2022. 4. 1 ～2024. 3. 31	卒業生代表として令和2年より学校関係者評価委員。
(備考) ・構成員の定数：4名 ・構成員の任期：2年 ・構成員の選任：学校長が必要と認めたもの		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東三河看護専門学校
設置者名	社会医療法人明陽会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎月1回、カリキュラムの検討会議を行い、その検討内容をシラバス作成に活用している。シラバスの作成は1月下旬頃から取りかかり、4月初旬(新年度初め)に学生へ公表している。 学習ガイダンスを作成し、学生に授業科目の到達目標・学習内容・評価方法を示し、説明している。</p>	
授業計画書の公表方法	訪問により閲覧可能
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学科試験の成績評価については、授業科目ごと規程時間数の3分の2以上出席した者に、成績評価を受ける資格が与えられる。試験は筆記試験を原則とし、必要に応じてレポート、口述試験、実技試験等の方法により行っている。100点満点とし、60点以上を合格とする。</p> <p>臨地実習の成績評価と単位の認定については、臨地実習評価表により評価する。各臨地実習の規程時間数の3分の2以上出席した者に成績評価を受ける資格が与えられる。100点満点とし、60点以上を合格とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の成績評価は100点満点とし、60点以上を合格とする。 科目の評価点100点～86点を評定A、85点～71点を評定B、70点～60点を評定C、60点未満を評定Dとし、A、B、Cは合格で所定の単位を与える。Dは不合格で単位は与えない。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>訪問により閲覧可能</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定は、学科試験、臨地実習の成績及び平素の学習状況を総合して、学校長が行うものとする。 各学年を通じて欠席日数(休学期間中の授業日数を含む)が出席すべき日数の3分の1を超える場合は、卒業することができない。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>訪問により閲覧可能</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東三河看護専門学校
設置者名	社会医療法人明陽会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	訪問により閲覧可能(事務局に書類設置)
収支計算書又は損益計算書	訪問により閲覧可能(事務局に書類設置)
財産目録	訪問により閲覧可能(事務局に書類設置)
事業報告書	訪問により閲覧可能(事務局に書類設置)
監事による監査報告(書)	訪問により閲覧可能(事務局に書類設置)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士			高度専門士		
医療		医療専門課程	看護科	○					
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総授業時数 又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
3年	昼	(旧:~R3年度入学生) 99 単位 (新: R4 年度入学生~) 105 単位	(旧)75 単位 (新)79 単位	(旧)1 単位 (新)3 単位	(旧)23 単位 (新)23 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位		
			単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
120 人		122 人	0 人	10 人	40 人	50 人			

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 教育課程は基礎分野、専門基礎分野、専門分野を基準として編成し、講義及び演習、臨地実習を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は試験、出席状況、レポート等によって行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定は、学科試験、臨地実習の成績及び平素の学習状況を総合して、学校長が行うものとする。
学修支援等
(概要) 看護師国家試験の合格に向け、少人数グループを編成し、グループごとに教員が付き指導している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	0人 (0%)	34人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 看護師として病院勤務			
（就職指導内容） 看護国家試験の合格に向け、少人数グループを編成し、グループごとに教員が付き指導している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第112回看護師国家試験 合格率100%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
118人	3人	3%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に担任との面接を実施・スクールカウンセラーの設置		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
看護科	100,000円	240,000円	320,000円	その他の内訳として、実習費用、教科書代、ユニフォーム代が含まれる。 また、別途クラス費が必要。
修学支援（任意記載事項） 成田記念病院奨学金制度を利用できる。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.meiyokai.or.jp/kango/evaluation/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>令和2年度より引き続き、元大学院教授、成田記念病院の看護部長、第二成田記念病院の看護介護部長、成田記念病院の看護部を、学校関係者評価委員として選任。 学校関係者評価委員会を開催し、学校運営、教育活動の改善を目指し、意見、助言をいただく。</p> <p>令和5年6月に、本校の学校評価に関する取り組みの経緯と、令和4年度の自己点検・自己評価結果を説明し、助言をいただく。</p> <p>新カリキュラムが開始されたことから新設科目の授業評価を行う。 地域の特徴をふまえ、地域の健康の向上に貢献するための能力を育成していくため、地域包括支援センターでの実習、予防活動学ぶ健診センター実習、多職種連携学習の準備等、新カリキュラムを滞りなく進行させる。</p> <p>また、クラス全体の指導とともに、学生個々の学習状況に対応していくために、学生の成長過程の個別性に合わせ学習指導を行う。 以上のことを令和5年度の基本方針とすることを決定した。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
元大学院教授	2年	学識経験者
社会医療法人明陽会 成田記念病院 看護部長	2年	就職施設代表
社会医療法人明陽会 第二成田記念病院 看護介護部長	2年	臨地実習施設代表
社会医療法人明陽会 成田記念病院 看護部	2年	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表。 http://www.meiyokai.or.jp/kango/schoolpersonnevaluation		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。